

GREEN RANGER NEWS

2023年6月号 Vol.349



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■4月の活動報告

・4月23日(日)春を食べる会、自然観察、お花見

多少風は寒いがいい天気、蔵王連峰が呼んでいる。温暖化のせいか、花の名所では例会に合わせて季節の花を遅咲きの花に植え替える所もあるという、予定を2週間早めでの「春を食べる会」は正解かもしれない。まずは材料の準備、植林地へ山菜を摘みに行く。そして恒例の天麩羅が、当会の歴史から天麩羅を揚げて30年以上と言うベテランに気合をかけられ、またプロの方に応援されて順序良く揚げられていく。一方、和え物などが手際よく皿に盛られていき、外に簡易テーブルが用意され、美味しそうな山菜料理が並べられた。定番の山菜料理が見てるまに皆さんの口の中に入っていく。また、ヨモギの天麩羅は初めてという方もあり、イタドリが食べられるものだと思っていた方もいたが、大成功でした。これだけ山菜を食べれば、無病息災間違いなしです。そして、今回初めて参加してくれた方たちを中心に話が盛り上がった。これからもよろしくお願いします。その後、腹ごなしに彩遊の森を散策。クロモジ・シラネアオイ・スミレ・ナツウダイ・ヒトリシズカ・フデリンドウの花などなど、そしてブナを始め広葉樹の新葉が森を鮮やかにしていく様に心も体も洗われた。参加者:17名



■5月の活動報告

・[例会]5月4日(木)祝日 自然観察 山菜採り

いい天気です。植林地はサトザクラが満開、そして何よりも植林した広葉樹が眩いほどの新緑で迎えてくれた。作業小屋に入るなり「ギョウジャニンニクを見つけた」と、当植物リストに追加されることになる。今日の作業はカラマツの間伐をすることとなった。リスの森混交林のカラマツの成長が早く鬱蒼としてきたと言う。現地で見ると、広葉樹とスギの実験林にカラマツが込み入っている。そんな中、他の樹木に傷をつけない様にロープで誘導しながらの伐採もし、切断・枝処理作業などに午前中いっぱい費やした。午後、春先の観察動画を観る。どうした



ギョウジャニンニク

か、弱ったイノシシが倒れ、カラスに突つかれ、辛うじて起き上がり水を飲み画面から消えた。また、タヌキやカラスがアズマヒキガエルを引き裂いて食べている。しかし、同じ水場でカエルも負けずと卵を産んだのか、今日は小さなオタマジャクシでいっぱいであった。動物の生きざまをみた様な。

そして漸く予定の自然観察、山菜採りに彩遊の森へ。Sさんがそっと小声で、さっきそこでタヌキと目を合わせた。帰り道、私もタヌキと目が合った。同じタヌキに騙されているのだろうか・・・？
参加者：8名

・[例会]5月28日(日) 混交林、アナグマの森のカラマツ伐採

ピンクのタニウツギが緑の林にひととき映える。地方によっては「田植え花」とも。来る途中、大型の田植機が稲の苗を満載にして働いていた。遅い田植えだと思って来たが、普通だったのかもしれない。今日の作業は予定通り前回やり残したリスの森混交林のカラマツの間伐。広葉樹や杉の木を傷つけずに倒されて行く、見てる方は気持ちいいが作業する方は必死である。その分、空が開け、実験林の樹々の成長を促す。昼休み、先日の観察動画に撮れていた母熊と子熊2頭の写真を見る。去年はブナの実是不作で



間伐作業、リスの森混交林

あったが、コナラやミズナラなどは豊作だったのだろう。注意して散策をお願いします。そして午後、その彩遊の森へ散策に行く。幹線道路脇、1本のブナの幹が害虫にやられている、どうしたものか。ヤマハンノキに寄生したヤドリギが益々元気を失っているよう。トチノキは花びらを落とし実をつける準備をし、ホオノキが初めて5・6個の花をつけ、サラサドウダン・ツリバナ・ヤブデマリ・ミズキなどは花盛り、ヤマボウシはこれから、足元にはハルジオンから何から書き尽くせない草花が歩くのを邪魔する。いい季節だ。 参加者：3名

■今後の活動について

[例会]

日時：6月11日(日) 10:00

場所：作業小屋

内容：混交林、アナグマの森のカラマツ伐採、木工(工具説明)

[例会]

日時：6月25日(日) 10:00

場所：作業小屋

内容：彩遊の森の枝打ち(アカマツ)、木工(工具説明)